

道路交通安全で信頼獲得へ

国際規格39001の認証登録

石川の企業では先駆的

一般貨物運送、土木工事業の久保建材工業（石川県かほく市高松、久保陽一代表取締役社長）は19日までに、国際規格「ISO39001（道路交通安全マネジメントシステム）へRTSM（規格）」を取得し、認証機関のペリージョンソン・レジストラ（PJR）から認証登録を受けた。

交通事故死者数は2839人だった。道路交通事故防止への取り組みは日本だけでなく、全世界的な課題。この課題を解決すべく、国際標準化機構は12年10月にISO39001を発行。対象は▽乗客・貨物輸送に関わる組織（運輸会社、トラック・バス・タクシー会社など）▽道路の設計・保守に関わる組織▽道路交通安全の法規制に関わる

組織などで、同社の認証登録は石川県内の企業では先駆的とされる。また、交通事故が引き起こす影響は多大だが、認証登録のメリットとして道路交通事故による死者数の減少につなげるだけでなく、組織における財産損失（車両の修理費用ほか）、人的損失（従業員死傷による労働力喪失、代替要員の確保ほか）、法的責任（刑事

上・行政上・民事上の責任）、利益損失（損害保険料増大ほか）を回避もしくは減らせ、事故減少への真摯な取り組みを実証することで、社会からの評価や信頼を獲得し、ブランド価値、イメージの向上にもつながる。久保建材工業は「ISO39001・2015年

版」及び「ISO14001・2015年版」の継続認証、全日本トラック協会の安全性優良事業所（Gマーク事業所）にも認定済みで、久保社長は「今後とも顧客満足度向上、環境汚染の予防、重大事故ゼロに向け、社員一丸となって全力で取り組みたい」と話す。



登録証を手に記念撮影する久保社長（前列右）ら関係者